

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年3月2日)

- 1 鳥取県新広域道路交通計画の策定について
【道路企画課】……2ページ
- 2 令和2年度湖山池会議の開催概要について
【河川課】……4ページ
- 3 鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第4回会議」の結果について
【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】……5ページ
- 4 枠予算(単県公共事業)の執行状況について
【技術企画課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】……7ページ
- 5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・道路企画課・道路建設課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】……9ページ

県土整備部

鳥取県新広域道路交通計画の策定について

令和3年3月2日
道路企画課

地方創生や国土強靱化などの取組を進める上で必要不可欠な社会基盤である高速道路などの広域的な道路ネットワークについて、鳥取県における新しい計画となる「鳥取県新広域道路交通計画」を策定しました。今後も引き続き、本計画に基づき高規格道路の早期整備に努めます。

1 計画策定の背景

物流の効率化や国土強靱化など新たな時代背景に対応する道路ネットワークを構築するため、平成6年に指定された地域高規格道路を再編し、都道府県単位で新たな広域道路交通計画を策定する方針が国により示された。この計画を今後の道路整備の基幹となる全国の幹線道路ネットワークとして定め、その中から「重要物流道路*」を指定し重点整備を図るものである。

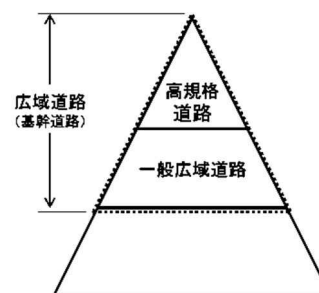
*国際コンテナ車(40ft 背高)の特殊車両通行許可を不要とし、災害時の道路啓開を県管理道路であっても国が代行可能とするなど、平常時・災害時を問わず物流・人流を確保する道路。平成31年4月に制度が創設され、現在、供用中の道路約3万5,500kmが指定。令和2年度末に新しい広域道路交通計画を踏まえて事業中・計画中の道路が追加指定される予定。

2 広域道路の区分

ブロック都市圏の中心都市*や空港・港湾などの重要な拠点を効率的に連絡する道路を「広域道路」とし、道路の規格によって新たに「高規格道路」と「一般広域道路」に区分する。

*ブロック都市圏の中心都市：県庁所在地、中核市、地方生活圏中心都市など

区分	概要
高規格道路	概ね20～30年後の地域の将来像に照らし、主要な交差点の立体化や沿道アクセスコントロールにより、概ね60km/h以上のサービス速度の確保を図る道路。
一般広域道路	部分改良等により、概ね40km/h以上のサービス速度の確保を図る道路。



3 広域道路の選定

- **高規格道路**：本県の3つのブロック都市圏中心都市である鳥取市、倉吉市、米子市と、県外の主要な都市を連絡する高規格幹線道路、地域高規格道路を「**高規格道路**」に指定。(山陰道、山陰近畿自動車道、北条湯原道路など)
- **一般広域道路**：高規格道路とダブルネットワークを形成するなど、**主要な都市間**を効率的、効果的に連絡する一般国道を「**一般広域道路**」に指定。(国道9号、国道179号、国道180号など)

4 広域道路交通計画策定の経緯・予定

令和3年2月 有識者等*¹の意見を聴取

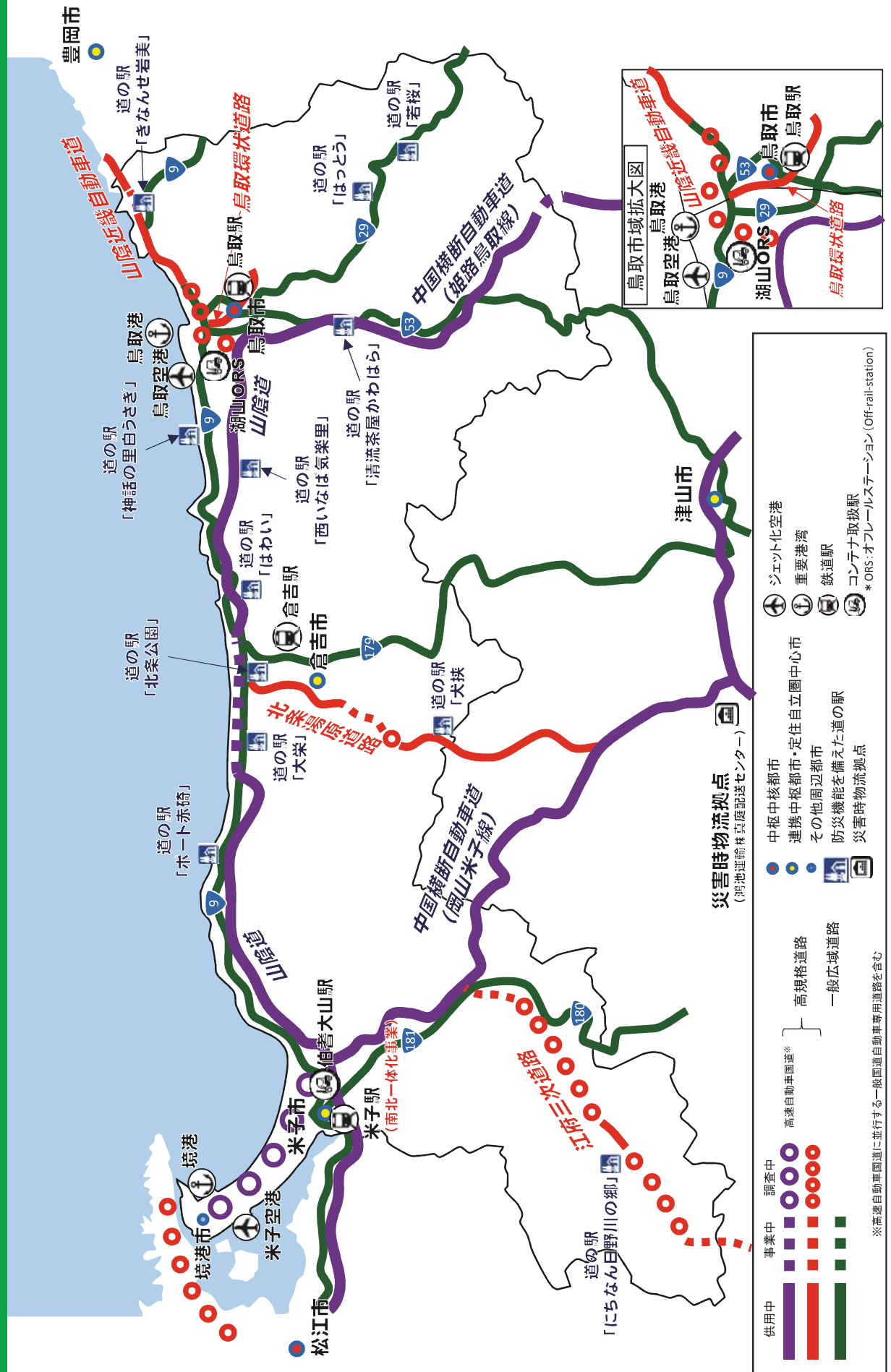
令和3年3月 鳥取県幹線道路協議会*²の開催(書面開催)において計画を策定
計画を踏まえて「重要物流道路」を指定

*¹ 鳥取大学、鳥取県トラック協会、鳥取県観光連盟、市町村、その他関係機関

*² 県の道路政策等について関係機関で協議を行う会議(県、国土交通省、NEXCO西日本で構成)

鳥取県新広域道路交通計画

令和3年3月1日策定



令和2年度湖山池会議の開催概要について

令和3年3月2日
水環境保全課／水産課／河川課

湖山池の環境改善等に向けて、県と鳥取市は事業の方向性、情報共有等を行う湖山池会議を開催したので、概要を報告する。

- 1 日時等 令和3年2月19日（金）午後2時30分～3時30分 鳥取県庁講堂他（オンライン会議）
- 2 出席者 鳥取県：小林統轄監、生活環境部長、農林水産部長、県土整備部長、東部地域振興事務所長
鳥取市：羽場副市長、市民生活部長、経済観光部長、農林水産部長、都市整備部長、下水道部長
※湖山池会議：湖山池の現状把握や今後の対応等を協議する県と鳥取市の共同プロジェクト

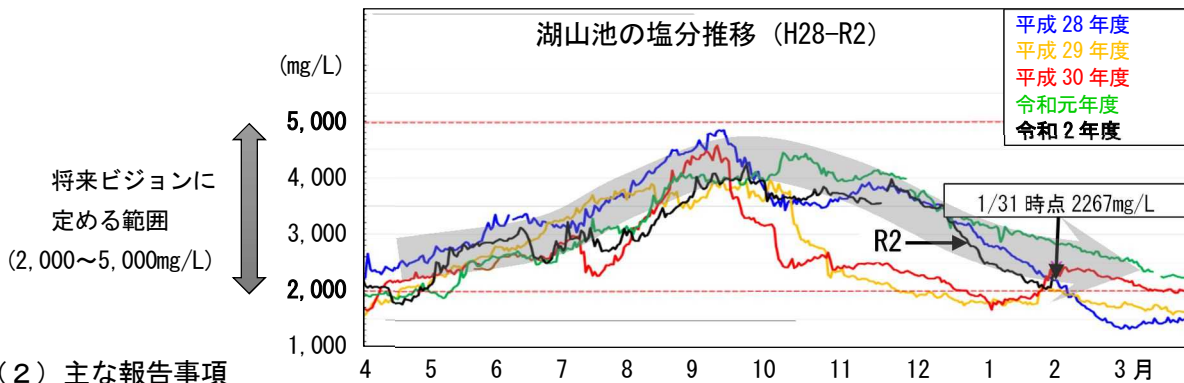
3 協議結果と主な報告事項

(1) 協議結果

○令和3年度の塩分濃度管理方針

令和2年度の塩分濃度は、年間を通じて概ね将来ビジョンに定める範囲内で推移した。令和3年度も引き続き、溶存酸素を監視しながらオーバーフロー構造（上越通水）による水門を細やかに操作することで、塩分を管理していく。

塩分管理	<ul style="list-style-type: none"> ・春季は、将来ビジョンに定める範囲内*で可能な限り、低値で推移させる。 ・夏季は、溶存酸素の確保に最大限配慮しつつ、将来ビジョンに定める範囲*での管理をめざす。 <p style="text-align: center;">※将来ビジョンに定める範囲：塩化物イオン濃度として2,000～5,000mg/L（海水の1/10から1/4程度）</p>
------	---



(2) 主な報告事項

①水質（市生活環境課、県水環境保全課）

- ・COD（化学的酸素要求量）は平成28年度以降目標値を達成している。
- ・全窒素、全りんは平成25年度以降、改善傾向であったが、令和元年度に増加した。原因は、夏季の湖底貧酸素化による底泥からの栄養塩溶出と考えている。

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計画目標値
COD(75%値) mg/L	7.9	7.0	5.7	5.5	5.1	4.7	5.4	5.5以下
全窒素(年平均値) mg/L	1.20	0.87	0.75	0.67	0.76	0.78	0.97	0.60以下
全りん(年平均値) mg/L	0.190	0.120	0.100	0.092	0.073	0.078	0.160	0.066以下

②生態系（市生活環境課、県水環境保全課）

- ・トンボ：福井地区で春に多く見られたが秋に減少した。原因は、福井公園内の池にアカウキクサ類縁種が繁茂し、水底が貧酸素化し幼虫が生育できなかったものと推察している。
- ・カラスガイ：池周辺のため池1か所で保全しているが、1か所では絶滅のリスクがあるので、分散して保全するよう有識者と個別協議して対策を進める。（環境モニタリング委員会の助言）

③湖内流動の解明に係る調査・研究（県衛生環境研究所）

- ・令和4年度に策定する第4期湖山池水質管理計画の水質予測シミュレーションの基礎資料等とするため、引き続き湖内へ流入する海水の流動等を調査して、水質予測の精度向上を図る。

④河川環境整備事業（県河川課、鳥取県土整備事務所）

- ・護岸整備：浅場造成によりヨシ群生の拡大を図るなど、鳥類の飛来等にも配慮した護岸整備を行う。
- ・覆砂：浅部(2.5～3m)では、覆砂厚が保たれへドロの再堆積もなく、底質改善効果が持続している。

⑤ヤマトシジミの漁獲量・資源管理等（県水産課）

- ・令和2年のヤマトシジミ漁獲量は218tで順調に推移した。
- ・県では資源量調査等を継続し、持続的な漁業となるよう湖山池漁業協同組合と連携して取り組む。

⑥利活用等の推進（市協働推進課、県東部振興課）

- ・湖山池遊覧船の運航を再開した（令和2年9月19日～12月19日運航、3月下旬から再開予定）。
- ・アダプトプログラムによる清掃活動：秋の早朝一斉清掃を実施した（11団体114名参加）。

⑦住民等との意見交換会（市協働推進課、県東部振興課）

- ・湖山池将来ビジョン推進委員会：地域住民の方との意見交換を行う（3月予定）。

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第4回会議」の結果について

令和3年3月2日
淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会「第4回会議」を開催したので、結果について報告します。

- 日時 令和3年2月23日（火・祝） 午後1時～午後3時30分
- 場所 さなめホール（米子市淀江町文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール
※ 傍聴は、さなめホール大ホール、県庁講堂においてモニター傍聴
- 委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授【会長】、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤浩子 一般財団法人地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉 芳 敬 鳥取大学教授
※ 新型コロナウイルス対策のため、全委員がWEB会議で出席

4 結果

(1) 地質構造・地層・地下水（帯水層）の分布

- 全11調査地点のボーリングコア（地質試料）の観察、地質分析、透水試験等の結果から、対象エリアの地質構造、地層及び地下水（帯水層）の分布を概ね推定することができた。
- 全体（対象エリア）では、3つの帯水層が存在し、それぞれの帯水層の間に難透水層が存在しており、帯水層・難透水層ともに対象エリア全域にわたって広く連続して分布していると想定される。

【主な帯水層区分】

表層	区分	概要
第1帯水層	第1帯水層	自由水面を持つ。
難透水層①	難透水層①	溝口凝灰角礫岩。全体によく固結し厚く分布。透水係数（※1）にばらつきあり。
第2帯水層	第2帯水層	主に火山灰質砂層で構成。被圧地下水（※2）。
難透水層②	難透水層②	火山灰質固結粘土層。固結～半固結。薄く広く分布。
第3帯水層	第3帯水層	主に火山灰質砂礫層（上部）、安山岩質火砕岩（自破碎部）よりなる。被圧地下水。

イメージ図

※1 透水係数 = 水の通しやすさを表す値

※2 被圧地下水 = 上位の難透水層に蓋をされ、圧力を受けている地下水

(2) 三次元シミュレーションの解析方法

- 地表水と地下水を一体化させた解析が可能なシミュレーションシステム（ゲットフローズ）を使用する。（使用実績多数あり）
- 検討対象範囲（30 km²）の周辺からの地下水の出入りを確認するため、周辺地域（約 110 km²）についても追加的に簡易な解析を行う。なお、このために追加ボーリング等は必要なく、期間や費用への影響はない。

(3) 委員からの主な意見

- ボーリング調査を基に地層区分が、よくまとめられている。
- 難透水層①（第1帯水層と第2帯水層の間）には透水係数のばらつきがあり、透水性の高い部分と低い部分の区別をもう少し検討する必要がある。
- 難透水層②（第2帯水層と第3帯水層の間）は薄い部分もあるが、両帯水層の地下水位や水質分析結果が異なれば、両帯水層はつながっていないと判断できる。
- ボーリング調査や各種試験で確定できなかった項目については、シミュレーションの中で検討していけばよい。

(4) 今後のスケジュール

- ・今後、地質構造及び水理地質構造の解析を更に進め、それらの解析結果を基に、シミュレーションのモデルの設定を進めていく。
- ・次回の第5回調査会（5月頃）では、地質断面図及び水理地質断面図の見直し、シミュレーションモデル作成等について検討予定。
- ・その後、再現解析の検証（※）などを行い、令和4年2月頃には調査結果が得られる予定。
※ 観測したデータを基にシミュレーションを実施

(5) 傍聴

新型コロナ対策として、別室でモニターによる傍聴を実施。傍聴者は32名（西部：さなめホール大ホール30名、東部：県庁講堂2名）。

枠予算（単県公共事業）の執行状況について

令和 3 年 3 月 2 日
県 土 整 備 部

県の管理する土木施設について、年度当初に想定していなかった突発的事態に迅速に対応し、必要な調査又は維持・修繕を実施するための枠予算を設定している。
令和 2 年度における当該枠予算の執行は、次のとおりである。

○事業化検討基礎調査費【現計予算：3,000千円 執行見込額：3,000千円】

技術企画課

令和 2 年度における事業化検討基礎調査費は現時点で未執行であるが、今後の突発的事項に対応するための予算として確保している。

○河川維持管理費（緊急修繕費）【現計予算：25,000千円 執行見込額：25,000千円】

河川課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
河内川	鳥取市気高町宝木	1,600	R2.6.23 ～ R2.6.24	大型土のう設置 N=79袋	護岸が一部崩壊したことを受け、被災範囲の拡大を防ぐため大型土のうを設置した。
日比野川	岩美郡岩美町岩本	2,000	R2.10.9 ～ R2.10.13	河川内倒木除去 N=1式	河道内の樹木が倒れ河川を閉塞したため、撤去を行った。
曳田川	鳥取市河原町北村	1,400	R2.10.19 ～ R2.10.20	護岸補修 N=1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
北股川	八頭郡智頭町芦津	1,830	R2.9.14 ～ R2.11.10	転落防止柵工 L=78m	転落防止柵が欠損したため、取替を行った。
平木谷川	八頭郡八頭町郡家殿	100	R2.10.15 ～ R2.10.16	石積間詰工 L=15m	水衝部の石積護岸が浸食により空隙が生じたため、モルタルにより間詰を行った。
平木谷川	八頭郡八頭町郡家殿	500	R2.10.27 ～ R2.11.16	石積補修 L=10m	石積上段が沈下し、損傷していたため、石積の補修を行った。
平木谷川	八頭郡八頭町郡家殿	400	R2.10.8 ～ R2.11.5	伐木工 N=1式	護岸を損傷させていた樹木の伐採を行った。
清徳川	八頭郡八頭町鍛冶屋	1,600	R2.11.10 ～ R2.11.16	伐木工 N=1式	護岸を損傷させていた樹木の伐採を行った。
北股川	八頭郡智頭町西野	350	R2.10.26 ～ R2.10.28	袋詰玉石 N=8個	護岸下部が洗掘されていたため、洗掘の進行防止として袋詰玉石を設置し応急対応を行った。
千代川	八頭郡智頭町大内	220	R2.11.9 ～ R2.11.10	袋詰玉石 N=4個	護岸下部が洗掘されていたため、洗掘の進行防止として袋詰玉石を設置し応急対応を行った。
由良川	東伯郡北栄町由良宿	5,000	R2.6.1 ～ R2.10.30	導流堤補修	導流堤矢板の損傷が確認されたため損傷拡大を防ぐための応急対応を実施した。
野上川	伯耆町畑池	1,700	R3.1.18 ～ R3.1.20	護岸補修 N=1箇所	護岸背後が陥没したため応急復旧を行った。
藤屋川	伯耆町福吉	1,700	R3.2.10 ～ R3.2.12	護岸補修 N=1箇所	護岸背後が陥没したため応急復旧を行った。
東長田川	南部町今長	150	R2.12.3 ～ R2.12.4	護岸補修 N=1箇所	護岸背後が陥没したため応急復旧を行った。
野本川	米子市河岡	150	R2.6.5 ～ R2.6.6	護岸補修 N=1箇所	護岸背後が陥没したため応急復旧を行った。

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
別所川	伯耆町久古	400	R2. 5. 22 ～ R2. 5. 23	倒木撤去 N=1箇所	河道内の流下断面を阻害する倒木等があり撤去した。
和田浜海岸	米子市和田	900	R3. 2末～	陸上養浜 N=1箇所	冬季風浪により浜崖が発生したため、急遽養浜を行った。
佐木谷川	日南町福寿実	500	R2. 4. 20 ～ R2. 4. 27	護岸復旧 大型土のう積等	堤防法面が崩落したため、応急復旧を行った。
真住川	日野町秋縄	3,000	R2. 6. 25 ～ R2. 7. 6	護岸復旧 大型土のう積等	堤防法面が崩落したため、応急復旧を行った。
日野川	日南町宮内	1,500	R2. 7. 7 ～ R2. 7. 31	護岸復旧 小口止め工等	護岸裏が吸い出されていたため補修を行った。

○砂防施設緊急修繕費【現計予算額：3,200千円 執行見込額：3,200千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
田後地区	岩美郡岩美町田後	1,900	R2. 12. 15 ～ R3. 2. 28	コンクリート擁壁補修 1箇所	急傾斜地崩壊防止施設の定期点検において早急に修繕を要する損傷(ひび割れ)が確認されたため、補修を行った。
綾木谷川	八頭郡八頭町柿原	670	R3. 1. 4 ～ R3. 1. 31	護岸補修 1箇所	護岸背面の吸出しによる空洞が発生したため、補修を行った。
吉川川	八頭郡若桜町吉川	630	R3. 1. 4 ～ R3. 1. 31	護岸補修 1箇所	護岸背面の吸出しによる空洞が発生したため、補修を行った。

○治山施設緊急修繕費【現計予算額：1,500千円 執行見込額：990千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
大呂地区	八頭郡智頭町大呂	990	R2. 4. 15 ～ R2. 6. 30	土砂撤去 一式 排水対策 一式	4月豪雨により北股川へ土砂が流入したため、河川内土砂の撤去及び排水対策を行った。

○漁港施設緊急維持修繕費【現計予算額：1,600千円 執行見込額：1,600千円】

空港港湾課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
網代漁港	岩美郡岩美町網代	300	R3. 1. 6 ～ R3. 1. 31	舗装補修 1式 照明施設撤去 1式	舗装が破損し漁業活動の車両等への影響が懸念されるため、補修を行った。また、暴風により照明施設が破損し灯具の落下が懸念されるため、灯具の撤去を行った。

未執行額の1,300千円は、今後の突発的事項に対応するための予算として確保している。

○港湾施設緊急維持修繕費【現計予算額：3,000千円 執行見込額：1,100千円】

空港港湾課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
鳥取港	鳥取市港町	150	R2. 8. 3	側溝蓋補修 N=1枚	側溝蓋の腐食により、一般車両への影響が懸念されるため、補修を行った。
田後港	岩美郡岩美町田後	850	R2. 9. 2 ～ R2. 9. 3	落石防護柵補修 L=8.4m	既存落石防護柵を越える落石の発生が確認されたため、応急対策を行った。
逢坂港	西伯郡大山町岡	100	R3. 2. 3 ～ R3. 3. 15	船舶上架施設補修 N=1式	暴風による船舶上架施設の屋根の一部が破損が確認されたため、補修を行った。

未執行額の1,900千円は、今後の突発的事項に対応するための予算として確保している。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
道路建設課	国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(上古川橋(A1~P4))(補助改良)	倉吉市 上古川	国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(上古川橋(A1~P4))日本ピーエス・美保テクノロジー特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社日本ピーエス鳥取営業所 所長 石井 和正	495,220,000円 (予定価格) 545,095,100円	令和3年1月4日 ～ 令和4年5月23日	令和3年1月4日	制限付 一般競争入札 (4社)
道路建設課 (鳥取県土 整備事務所)	国道178号(岩美道路)法面工事(2工区)(補助)	岩美郡 岩美町 陸上	国道178号(岩美道路)法面工事(2工区)(補助)武晃建設・オオクボ特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社武晃建設 代表取締役 山根 千鶴子	169,400,000円 (予定価格) 183,794,600円	令和3年1月12日 ～ 令和3年7月30日	令和3年1月12日	制限付 一般競争入札 (4社)
道路企画課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道皆生西原線(新開橋)外橋梁補修工事(補助)	米子市 上福原外	株式会社みたこ土建 代表取締役 美田 耕一郎	103,400,000円 (予定価格) 106,499,800円	令和3年1月18日 ～ 令和3年9月13日	令和3年1月15日	制限付 一般競争入札 (3社)
治山砂防課 (中部総合事務所 県土整備局)	牧地区急傾斜地崩壊対策工事(1工区)	東伯郡 三朝町 牧	株式会社チュウブ 代表取締役社長 小柴 雅央	128,150,000円 (予定価格) 138,078,600円	令和3年3月1日 ～ 令和3年12月6日	令和3年1月22日	制限付 一般競争入札 (7社)

【変更分】

県土整備部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	変更理由
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	県道鳥取鹿野倉吉線道路 震災復旧工事(元年災 第6号)	東伯郡 三朝町 三徳	晃進建設有限公司 代表取締役社長 中口 義文	(当初契約額) 129,800,000円	令和2年5月12日 ～ 令和3年2月9日	(当初契約年月日) 令和2年5月12日	-
					(変更後工期) 令和3年3月15日	(第1回変更契約年月日) 令和3年1月21日	災害復旧工事に支障となる埋設ケーブルの移設工事が遅延したことにより、交通規制の切替ができません。工程が遅延したことによる工期延伸
道路建設課 〔鳥取県土 整備事務所〕	国道178号(岩美道路) 橋梁下部工事(1工区) (補助)(O国債)	岩美郡 岩美町 浦富	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 180,620,000円	令和2年3月25日 ～ 令和3年1月25日	(当初契約年月日) 令和2年3月25日	-
					(変更後工期) 令和3年3月15日	(第1回変更契約年月日) 令和2年4月17日	契約約款の改正に伴う 変更契約
						(第2回変更契約年月日) 令和3年1月20日	作業ヤードの制約から、基礎杭の施工時期について隣接工区と工程調整を行ったことによる工期延伸

【変更分】

県土整備部

主 務 課	工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
道路建設課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	国道178号(岩美道路) 橋梁下部工事(4工区) (補助)	岩美郡 岩美町 牧谷	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	(当初契約額) 123,750,000円	令和2年1月6日 ~ 令和2年10月9日	(当初契約年月日) 令和2年1月6日	-
				(第1回変更後契約額) 120,963,700円 (変更額) (△2,786,300円)	(変更後工期) 令和3年1月29日	(第1回変更契約年月日) 令和2年10月9日	・当初残土処分する予定 としていた残土について 他現場流用とすることと したことによる工事費の 減 ・別工事(JR委託)との 工程調整による工期延 伸
				(第2回変更後契約額) 122,724,800円 (変更額) (1,761,100円)	(変更後工期) 令和3年2月26日	(第2回変更契約年月日) 令和3年1月28日	・落橋防止用アンカーボ ルトを設置したことによる 工事費の増 ・上記追加施工に伴う工 期延伸

【変更分】

県土整備部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
〔 八頭県土 整備事務所 〕 道路建設課	国道482号(春米BP)第 二残土処分地造成工事 (2工区)(交付金改良)	八頭郡 若桜町 春米	中一建設株式会社 代表取締役 中尾 仁	(当初契約額) 112,200,000円	令和2年3月13日 ～ 令和2年11月25日	(当初契約年月日) 令和2年3月13日	-
						(第1回変更契約年月日) 令和2年5月13日	契約約款の改正に伴う 変更契約
					(変更後工期) 令和2年12月14日	(第2回変更契約年月日) 令和2年5月26日	進入路工にあたり、立木 補償の完了後に着工予 定であったが、境界立会 及び所有者確定に時間 を要すこととなり、工事を 一時中止したことによる 工期延伸
				(第3回変更後契約額) 117,059,800円 (変更額) 〔 4,859,800円 〕	(変更後工期) 令和3年3月19日	(第3回変更契約年月日) 令和2年11月18日	・土質試験の結果、設計 の見直しが必要となった 期間について、工事を一 時部分中止したことによ る工期延伸 ・設計の見直しにより、補 強盛土工から軽量盛土工 に工法を変更したこと による工事費の増
	(第4回変更後契約額) 118,347,900円 (変更額) 〔 1,288,100円 〕			(第4回変更契約年月日) 令和3年1月28日	(第4回変更契約年月日) 令和3年1月28日	熱中症対策に当たり、真 夏日日数に応じた経費 の補正を行ったことによ る工事費の増	

【変更分】

県土整備部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
河川課 (鳥取県土整備事務所)	大路川広域河川改修工事(清水川排水機場3工区及ひ倉田排水機場3工区)	鳥取市 吉成南町 外	北村屋木材株式会社 代表取締役 有田 繁博	(当初契約額) 144,320,000円	令和2年2月4日 ～ 令和3年1月29日	(当初契約年月日) 令和2年2月4日	-
				(第1回変更後契約額) 161,320,500円 (変更額) 17,000,500円	(変更後工期) 令和3年3月19日	(第1回変更契約年月日) 令和3年1月18日	・鋼矢板の打設において、地盤内に障害物が存在したため打設できず、硬質地盤専用の工法に変更したことによる工事費の増 ・排水機場上屋工事の建築申請において、協議に期間を要し、関連する本工事を一時中止したことによる工期延伸
治山砂防課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	佐陀川砂防堰堤(K2)工事(5工区)(補助)	西伯郡 伯耆町 丸山	平井工業株式会社 代表取締役 平井 圭一	(当初契約額) 129,250,000円	令和元年10月31日 ～ 令和2年8月7日	(当初契約年月日) 令和元年10月30日	-
				(第1回変更後契約額) 146,447,400円 (変更額) 17,197,400円	(変更後工期) 令和3年1月8日	(第1回変更契約年月日) 令和2年8月3日	・起工測量を行った結果、工事着手前の降雨により土砂が約7,000m ³ 現場内に堆積しており、掘削土量及び運搬土量が増となることによる工事費の増 ・掘削等の増工による工期延伸
				(第2回変更後契約額) 133,087,900円 (変更額) △13,359,500円		(第2回変更契約年月日) 令和3年1月6日	9月26～27日の豪雨等により現場内に土砂が流入し、流入土砂の撤去作業のため工事の撤去が生じた。遅延により、間詰ブロック積工の一部の施工を取りやめたことによる工事費の減

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
空港港湾課	鳥取港第3防波堤撤去工事(補助)(国補正)	鳥取市 港町 地先	八幡コーポレーション株式会社 代表取締役 玉木 裕一	(当初契約額) 291,500,000円 (第1回変更後契約額) 308,869,000円 (変更額) 〔 17,369,000円 〕	令和2年3月27日 ～ 令和3年1月15日 (変更後工期) 令和3年3月25日	(当初契約年月日) 令和2年3月26日 (第1回変更契約年月日) 令和3年1月13日	- ・西浜航路供用開始に向けた航行安全施設(標識灯)の製作による工事費の増 ・上記標識灯製作を追加したことに伴う工期延伸